

テーマ：『 自然と共に生き、よりよい環境を作り出す子の育成 』

横浜市立 都田西小学校

Tel. 045-933-7652

担 当 依 田 一 代
者：

■実践内容：

【全校での取り組み】

本校ではさまざまな場面を捉えて、環境により良く関わる活動を行っている。日常的には、ごみの分別（燃えるごみ・プラスチック・新聞紙・金属など）を行っている。そのために、各クラスに分別用の箱を設置している。委員会活動は、自然環境保護委員会が、学校内のビオトープ、ミニビオトープを利用した水辺の生き物の飼育・観察や江川せせらぎ水辺愛護会・都筑水再生センター等との連携によるホタルの幼虫の飼育と放虫などを行っている。福祉委員会が、ペットボトルキャップの回収を行いユニセフの医療的貢献に参加している。

さらに年に一回ではあるが、全校生徒による、クリーン大作戦の企画と実践、環境をテーマにした催し物や、コンクールへの積極的な参加ができるよう呼びかけを行っている。

【学年での取り組み】

- ・ 1年 身近な動植物に触れ、その生命を大切にしようとする。（生活科）
- ・ 2年 野菜の栽培を通して植物が育つ環境について関心をもつ。（リ）
- ・ 3年 身近な植物・昆虫について成長の過程を調べ、自然の摂理や素晴らしさに気づく（理科）
- ・ 4年 ツルレイシ栽培によるグリーンカーテンづくりを通して、植物が温度の上昇を抑える働きをしていることを実感する。太陽光エネルギーの学習を通しクリーンエネルギーに関心をもつ。
- ・ 5年 バケツ稲作りを通して、栽培方法や食物生産を取り巻く環境問題に気付く。
- ・ 6年 エコロジーに関する学習を行い、環境保全のために自分ができることを考えようとする。

■実践成果：

各教科に環境教育の視点を盛り込み、子ども達自身が気づき、理科や生活科や総合的な学習などの学習の中で少しずつ活かせるようになってきている。授業中、植物の名前が分からないときや図画工作などで鳥などの絵を描く時、2階の環境コーナーに行き図鑑を調べたり、本を見たりすることが多くなっている。また、学習や掃除などで出るごみに対してもいろいろな分別が低学年からでき、ものを大切に使う気持ちやリサイクルする意識が身についてきている。

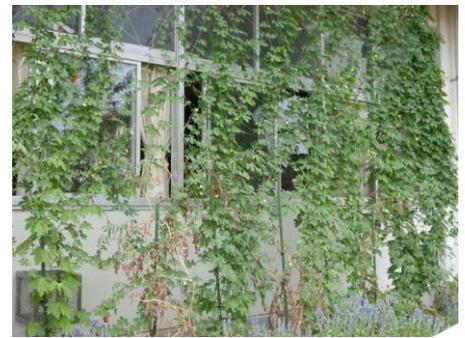
4年生は、区の緑のグリーンカーテン事業に参加し、6月からゴーヤの栽培をベランダ側に毎年行っている。グリーンカーテンの成果としては生育が目目の当たりに観察できて、とても身近な物に感じることができた。昨年の課題を活かして、土の量・水やりの回数などを工夫して行い、今年はより良い生長の様子が見られた。

環境委員会では、水生植物がすっかり根付いている。また水生植物を集会などで全校の児童に紹介している。このように自然との触れ合いを深め、より良い環境づくりへの意識が高まりつつある。

■実践ポイント：

自ら楽しさや喜びを発見し、友達の良さに気づき一緒に考えながら活動している。総合的な学習に活かすことで環境問題に目を向ける素地ができてきている。

さらに、施設・設備を効果的に活かし、子ども達に自然と共生していくことの大切さや環境を大切にする意識を持



たせるように取り組んでいる。